



18:00
4 遊んだ後はご飯をいただきます。ばーばが作ってくれたトンカツに大喜び。



18:15
5 吉田さんのご主人もゆいちゃんとおしゃべりが楽しい様子。



19:00
6 ママが迎えに来ました。次に来るのは2週間後かな。「ばーば、またね！」



17:00
1 ママが休日出勤の時はいつもと違う保育園へ行くゆいちゃん。吉田さんが迎えに来てくれます。



17:10
2 1歳になる前から来ている「ばーばの家」。リラックスして過ごします。



17:40
3 今日のお絵描きは「ゆいとママがドレスを着ているところ」とゆいちゃん。「上手ね〜」と吉田さん。

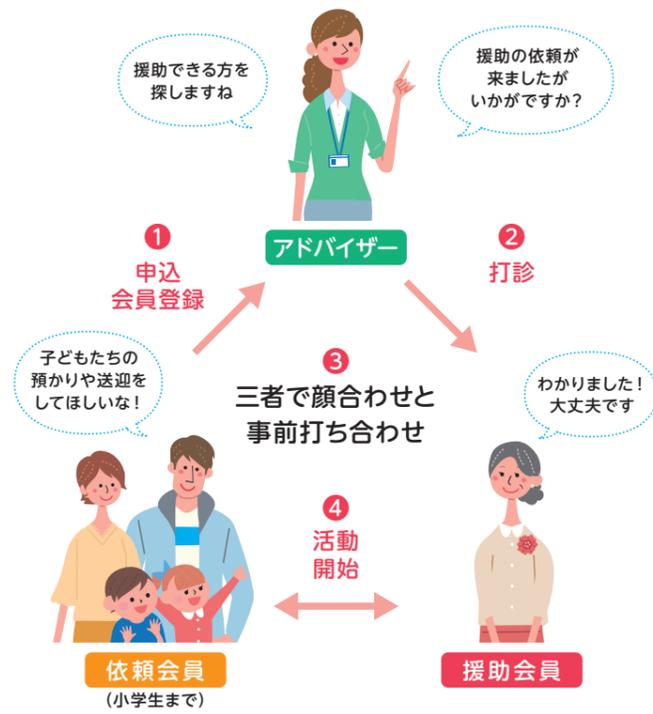
ある日のゆいちゃんと吉田さん

援助会員が依頼会員のお子さんをサポートする現場におじゃましました。

手伝って！

見守るよ！

ファミリーサポートセンター



「仕事で遅くなるので、保育園へ子どもを迎えに行きたくてほしい」「上の子の学校行事の間、子どもの面倒を見てほしい」など、依頼会員の希望に応じ、子育て中の家庭の助けになってくれるのが「ファミリーサポートセンター」の援助会員です。「猫の手も借りたい」子育て期の人たちをサポートします。

アドバイザーの河野倫子さんは「援助したい方には2日間の講習を受けてもらい、小児科医などから話を聞き、安全安心な状況でお子さんと接することができるようになっています。週に1、2回、数時間なら活動できるといっても遠慮なく問合せを」と話します。皆で子どもが元気に育つまちを築きましょう。

子育て家庭を地域の大人が応援！ その仕組みとは？

今年度に限り、利用料(謝礼金)を助成します！

概要 依頼会員が援助会員に支払う謝礼金(通常1人1時間600円)を、1日あたり3時間を上限として助成
※交通費などの実費は除く
対象者 宮崎市在住の全ての依頼会員
期間 令和2年7月1日から令和3年3月31日まで

登録をご希望の方は事前の電話予約を

ファミリーサポートセンターみやざき
TEL 62-0252
受付時間:9時~17時30分(日曜は17時まで)
休館日:火曜・祝日・12/29~1/3

【今年度の育児援助者養成講習会】

- 9/3(木)・4(金) 東大宮地区コミュニティセンター
 - 10/17(土)・18(日) 宮崎市男女共同参画センター
 - 2021年1/21(木)・22(金) 宮崎西地区交流センター
 - 2/18(木)・19(金) 宮崎市男女共同参画センター
- 時間は1日目:10時~16時30分、2日目:10時~15時30分

なくてはならないファミサポ

月に2~3回ほど保育園へのお迎えと預かりをお願いしています。娘が1歳になる前から助けてもらっていて、なくてはならない存在です。吉田さんは朗らかで、話しやすい雰囲気。子育ての悩みも相談しています。夕飯も用意してもらい、娘もこちらでは苦手な野菜をがんばって食べているようです。子どもが



いてなかなか思うように働けないと困っている友人が私の周りにもいます。ファミリーサポートセンターをもっと多くの人に知ってほしいです。

ふれあいで元気をもらいます

原田さん親子とは、私の自宅と保育園が近いことでファミリーサポートセンターから紹介され、4年ほど前からの付き合いです。毎回2時間ほどですが、私に用事がある場合は一緒に援助会員に登録した友人に代わってもらうようにしています。子育て中は何かと大変なことが多いですし、おじいちゃん、おばあちゃんが遠くにいる親御さんもいるので、私にできることがあれば助けてあげたい。小さい子と触れ合うことで若返る気がします。



住み続けられるまちづくりを
子どもは未来の担い手
元気に育つ社会をみんなの手で

17の目標を掲げるSDGsはこれからの未来のために作られたもの。そのとき「持続可能な社会」の中心にいるのは、今の子どもたちです。彼らが強く優しく健やかに成長するために地域ぐるみで育てていきましょう。弱い存在の子どもたちが、安心して暮らせるまち・宮崎市を、次世代へ引き継ぎましょう。



子育て支援センターで遊ぶ1歳の男の子。笑顔あふれる未来へ。



持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals = SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。宮崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

問 子育て支援課 TEL21-1765 FAX27-0752